



金色疏水の水源地である八面山
中腹にある古池



八面山
金色川に築造されたゴム堰

information

水源の古池は、大宝年間(701)の築造といわれ、1250年前の第42代文武天皇の代とされている。その後、弘治3年(1557)の修理、文久2年(1862)との増築工事、昭和6年の決壊、昭和52年のグラウト注入による漏水対策工事などが大分県土地改良区史に記されている。

また、箭山(ややま)太郎伝説では、娘の佐知姫が泳ぎが好きだったことから、姫のために山の頂に大きな池を造ってやって泳ぎを楽しませた。これが古池だとの言われがある。

金色川の井堰や受益地内水路は、書き物が無く改修履歴は正確にはわからないが、川の水を利用してかなり古くから農耕が行われていたと考えられている。昭和50年後半から平成8年にかけて実施された県営ほ場整備事業により、ほとんどの井堰と全ての水路は、改修された。



お問い合わせ 中津市三光原口644-7
三光土地改良区
TEL0979-43-5693(FAX共通)